

2026年度

南三陸少年少女自然調査隊

ネイチャー ニュース

Nature News vol.3

【八幡川の生きもの調査】

令和8年7月11日（土） 8:00～12:00

場所：八幡川（小森ふ化場前）

スタッフ：株式会社エコリス

南三陸高校自然科学部

南三陸ネイチャーセンター友の会

南三陸町自然環境活用センター



「川にすむ生きものを調べてみよう！」

今回は、八幡川にすむ生きものについて調査しました。

調査隊からは5人が参加したほか、南三陸高校自然科学部のみなさん、株式会社エコリスのみなさんと一緒に活動を行いました。

調査場所は小森ふ化場前の川で、去年は猛暑により水が干上がってしまいましたが、今年はしっかりした水の流れがありました。



「環境DNA調査をやってみよう！」

☆環境 DNA って何？どうやって調査するの？

DNA は生物の遺伝子情報を親から子へと伝える物質で、DNA を調べると生きものの種類を識別することができます。DNA は右のイラストのような二重螺旋（らせん）の形をしていて、人の目では直接見えないほど小さいです。

今回の調査では、注射器とフィルターを使って川の水に含まれる生きものの環境DNA（排泄物やはがれた皮ふ、ウロコなど）をろ過して集めました。

みんなで集めた環境 DNA を使い、今後詳しく魚の種類を調べていきます。



DNA



「生きもの採集開始！」

川幅や水温、流速などを測ったらいよいよ生きもの探しスタートです。まずは、エコリスのみなさんが投網で採集を行いました。次に、みんなで石をひっくり返したり、足で生きものを網に追い込んだりして捕まえました。



「どんな生きものが見つかったのかな？」

いっぱい探した後は、捕まえた生きものを魚や甲殻類、虫などに種類分けをして、エコリスのみなさんから名前や生態についてお話を聞きました。

今回発見した生きものは**37種類**で、昨年度の24種類を大きく上回る数になりました。

隊員は生きものについての説明を熱心に聞きながら、観察やスケッチ、質問をしていました。

【八幡川で見つけた生きもの】

〈魚〉 ヤマメ、アユ、ウグイ、シマヨシノボリ、ドジョウなど、

〈甲殻類〉 モクズガニ、サワガニ、ヌマエビなど

〈虫〉 チラカゲロウ、フタツメカワゲラ属、コヤマトンボ、ミズカマキリなど

〈貝類〉 サカマキガイ、ヒラマキミズマイマイなど 〈その他〉 カエル類、ツリミミズ科など



【こども環境情報誌「エコチル」に調査隊の活動が掲載されました！】

環境に関する知識やイベント情報などを紹介している「エコチル」に調査隊の活動記事が掲載されました。5月に行った干潟調査について紹介されていますので、ぜひご覧ください。

○こども環境情報誌「エコチル」ホームページ URL

<https://www.ecochil.net/>

【次回の予定】

9月5日 or 6日：スノーケリング体験（おおさき生きものクラブとの交流事業）